

医薬品企業としての責任と貢献、企業市民としての責任と貢献を果たしてまいります。

地球社会の一員として、いかに経済的・社会的・文化的な貢献ができるか、21世紀を迎えて求められる企業の価値はまさにここにあります。当社は、1847年(弘化4年)に薬業を始めて以来、医薬品の提供を通じて「人々の健康な生活の向上に貢献する」ことを企業使命とし、「世界の人々のQOL(クオリティ・オブ・ライフ:生活の質)向上を目指す」ことを経営理念に掲げ、世界中で事業展開してまいりました。今後も国内外を問わず、当社に求められる責任と貢献を持続的に果たしていくために、企業としての基本姿勢と企業および社員が遵守すべき行動規準を示した「久光企業憲章」「コンプライアンス・プログラム」を制定しています。社員一人ひとりがこれらを、日常業務の中で遵守していくことで、医薬品企業としての責任と貢献、企業市民としての責任と貢献を果たしてまいります。

医薬品企業としての責任と貢献

当社は、売上の97%を医薬品および関連製品事業で占めています。なかでも、近年鎮痛消炎作用を持つ外用剤の開発と提供において、日本におけるリーディングカンパニーの地位を確保しています。さらに、鎮痛消炎以外の領域の薬物においても、貼付剤化することで今までの剤型ではなかった新しいメリットが得られることが明らかな薬物があり、その薬物のTDDS製剤開発に集中して取り組んでおります。当社は、生命関連企業としてまず何よりも生命の尊厳を重んじ、そして世界におけるリーディングカンパニーとして人々の

QOLの向上に貢献し続けるため、科学に対する謙虚さを持って有効性・安全性にすぐれた高品質の医薬品の開発と安定供給と情報提供に努めてまいります。

企業市民としての責任と貢献

当社が社会に貢献するためには、医薬品の開発と安定供給という事業活動を通じて企業として社会から信頼される存在であることが必要です。すなわち、医療関係者やお客さまに当社を信頼していただき、商品を買っていただけてこそ得られる利益を用いて、TDDS製剤設計や適正な臨床試験などの研究開発、適正な生産活動および営業活動、従業員の福利厚生の上と教育研修、環境保全や文化事業への投資、そして株主の皆さまへの利益配分を持続的に行うことができます。市場経済も当社の事業もグローバル化した現在、国内だけでなく世界の多様なステークホルダーを尊重し、地球環境の保全とより豊かな社会の発展のために、当社に求められる責任と貢献を果たしてまいります。

新たなCSR体制のスタート

地球環境の保全に貢献することは、人々の健康で快適な生活への貢献につながることから、生命関連企業として当社の経営理念と合致する重要な経営課題の一つと捉えています。

当社は、生産活動を行う佐賀県鳥栖市および栃木県宇都宮市の事業所において、1990年代にはISO14001の認証を取得し、省資源、省エネルギー、廃棄物削減を進めてまいりました。具体的には、九州本社・鳥栖工場および宇都宮工場に太陽光発電設備を一部導入し、工場用の重油利用ボイラーを天然ガス利用ボイラーに切り替える等、環境負荷の低減を進めています。また、排出物のより少ない生産方法の研究と廃棄物の二次利用促進を行って、CO₂削減・環境負荷低減を目指しております。さらに鳥栖工場では、夜間電力を昼間に有効活用するNAS電池という蓄電設備を設置しました。

これらの持続した活動は、「費用削減と環境負荷低減効果の両立」を実現させるものであり、企業にとって地球環境の保全に対する持続的な取り組みによる経営発展を可能とするものと考えております。

このように当社は、さらなる社内の取り組みと社員教育を推進するため、2007年にCSR推進室を新設することにより、当社の取り組みを客観的に評価できる仕組みの構築に取り組んでまいりました。2008年度は、CSR体制とその取り組みをさらに強化してまいります。

真の「世界の人々のQOL(クオリティ・オブ・ライフ:生活の質)向上を目指す」ため、医薬品企業・企業市民としての責任と貢献の実現をめざすCSR経営を一層推進してまいります。



代表取締役社長

中富 博隆